あおぞらニコニコ通信

令和４年度３月号

社会福祉法人三田谷治療教育院　明石市立あおぞら園・きらきら
〒674-0092 明石市二見町東二見 1836 番地の１ ふれあいプラザあかし西 ２階
TEL. 078-945-0280 FAX. 078-945-0281
E-Mail : aozorakirakira@sandaya.or.jp
撮影の為にマスクを外している場合がありますが感染症対策を徹底して行っています。

いつも笑顔！ 浅原園長ごあいさつ

この１年も、みなさまに支えていただきながら、子どもたが成長できたことに感謝します。新型コロナ感染症も収束の気配が見え、来年度のあおぞら園での療育や行事を考えるとワクワクします。

今年度も例年とは違うことが多い年となりましたが、子どもたちはこの１年で大きく成長してくれました。子どもたちが人との信頼関係のもと、自分らしくのびのびと生活し、他者を受け入れることができるようになってきた姿を見ると本当に嬉しく感じます。今年度であおぞら園を卒園されるお子様もあおぞら園を継続されるお子様も、毎日の生活を楽しみながら、それぞれのペースでゆっくりとできることを増やしていってほしいと思います。

あおぞら園は、来年度も、子どもの主体性を育みながら、療育に取り組んでいきます。また、将来的に趣味として続けていけるようなアートや音楽などと出会う機会も大切にしていきます。保育士やセラピストは、子どもたちの発達段階をしっかりと把握し、保護者の方のご意見や思いを取り入れた療育を進め、保護者のみなさまに安心していただけるよう努めて参ります。今後もみなさまのご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

お子様とアートを楽しむ浅原園長

卒園式の練習風景

お子様のアウトプットを豊かにする療育を ～あおぞらセミナーご報告～

会場を笑いの渦に巻き込んだ小川先生

後期あおぞらセミナーが開催されました。今回は兵庫教育大学の小川修史先生に「ICT を活用して子どもたちの“主体性”をいっしょに伸ばしてみませんか！」というお子様のアウトプットを豊かにするお話を伺いました。

小川先生は特別支援教育・教育工学がご専門で、それだけ聞くと難しそうな感じがしますが、車椅子の方でも気軽におしゃれが楽しめるように、性別や障害に関わらず誰でも着られる「ボトモール」をパリコレで発表したお話をはじめ、ICT のこれからの発展や、それを活用することで、苦手なことのある子どもたちの可能性がさらに拓けていく、そんなワクワクするようなお話をたくさんしてくださいました。

ICT というとあまりなじみがない感じがしますが、大切なことはコミュニケーションのための手段であること、特に子どものアウトプットを豊かにするために気軽に使うことが大事、ということをユーモアたっぷりに、体験の時間まで用意して話してくださいました。

当日は多くの方にご参加いただき、本当にありがとうございました。アンケートではほとんどの方に、とてもわかりやすく、ためになったとのお答えをいただいています。収容人員の都合でやむなくお断りさせていただいた方には申し訳ありませんでした。この次も充実したあおぞらセミナーを目指していきますので、今後もよろしくお願いします。（吉川）

満員御礼のあおぞらセミナー

安心して過ごせるあおぞら園へ ～あおぞら園自己評価結果から考えること～

１月より、保護者の方にアンケートのご協力のいただき、児童発達支援・放課後等デイサービス評価表をとりまとめました。

概ね良い評価をいただきありがとうございました。今後も継続してお子様の成長のお手伝いができるように取り組んでいきたいと思います。

今後の課題として、「わからない」や「いいえ」とご回答いただいたことに対して、改善や工夫をしていきたいと思います。災害などの緊急時対策を具体的に分かりやすく説明し、安心してお子様を預けていただけるようにしていきたいと思います。

そして、今後もお子様やご家族の方々が安心して過ごすことができるように努めていきたいと思います。（大向）

お子様の食事介助を行う大向主任

保護者の方の気持ちに寄り添う！ ～きらきら自己評価結果から考えること～

お子様に対応する泉川先生

今年度もきらきらの保護者の皆様に自己評価表の提出にご協力いただきました。「室内が広くて、きれいで居心地がいい」や「安心して預けられる」等、好評価な意見もあれば、こちらの説明不足で保護者の方に不安なお気持ちにさせていたと感じる意見等、様々なご意見をいただいたなか、項目内容によっては「どちらともいえない」「わからない」という回答もありました。管理職、クラス職員で日々の支援や保護者の方への伝達方法などを振り返り、「保護者の方へ分かりやすい説明（発信）ができていただろうか」「保護者の方の気持ちに寄り添うことができていただろうか」といろいろなことに気付かせていただきました。

いただいた貴重なご意見を大切に、改善し、より一層利用者の方、保護者の方が笑顔で過ごすことができるよう努めてまいります。（泉川）

日本の伝統行事を体験！！～あおぞら園・きらきら節分行事のご報告～

あおぞら園ぺんぎん組での節分行事

かわいいお子様であっても、あおぞら園・きらきらの節分行事で登場する鬼は容赦しません！

クリスマス同様に毎年２月の節分行事が近づくにつれ、あおぞら園・きらきらの鬼はお子様に＂こわい＂という感情を引き出し、最後はみんなで退治する＂達成感＂を持ってもらうために、トラウマにならないギリギリのラインで鬼の扮装や演技にこだわります。

今年もそんな想いを大切にする鬼役の私のわがままを園長が聞いて下さり、お面を一新して伝統行事色のより濃い、バージョンアップした鬼であおぞら園・きらきらのお子様と戦い、全敗させていただきました。

今年は例年に比べ、立ち向かうお子様が多く、私も全身全霊でお子様の気持ちを受け止め、行事を楽しませていただきました。お子様も主体的に邪気を追い払い、この一年間は無病息災で過ごすことができるでしょう！

これからも、お子様の発達に合せた療育を行うとともに、家では出来ないエンターテインメント性のあるイベントを行い、お子様やご家族の皆様と一緒に楽しんでいただける園としてありつづけたいと思います。（服部）